

要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : ヘキサメチレンテトラミンの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試 験 番 号 : A 0 2 0 3 6 7 - 1

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」
(1984年)
- 2) 暴露方式: 止水式 (開放系), 連続振とう培養 (100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (株名: ATCC22662)
(現在 *Pseudokirchneriella subcapitata*と学名が変更されている。)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度: 対照区, 100 mg/L (限度試験)
(設定値)
- 6) 試験液量: 100 mL (OECD培地) / 容器
- 7) 連 数: 3 容器 / 試験区
- 8) 初期細胞濃度: 前培養した藻類 1×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度: 23 ± 2 °C
- 10) 照 明: 4000 lux ($\pm 20\%$ の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分 析 法: 高速液体クロマトグラフィー質量分析 (LC/MS)

試 験 結 果 :

- 1) 試験液および試験培養液中の被験物質濃度

被験物質濃度分析の結果, 測定値の設定値に対する割合は, 暴露開始時の試験液において 106 %, 暴露終了時の試験培養液において 101 %であった。阻害濃度の算出には開始時の測定値を用いた。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50 (0-72h) : >106 mg/L (95%信頼区間:算出不可)

最大無作用濃度 NOECb (0-72h) : >106 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-48h) : >106 mg/L (95%信頼区間:算出不可)

最大無作用濃度 NOECr (24-48h) : >106 mg/L

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-72h) : >106 mg/L (95%信頼区間:算出不可)

最大無作用濃度 NOECr (24-72h) : >106 mg/L

4) 藻類の形態観察

暴露終了時の顕微鏡下での細胞形態観察の結果, 100 mg/Lの濃度区では, 細胞形態の変化(収縮, 膨張, 破裂等)や細胞凝集は認められず, 対照区との相違もなかった。